市長コラム

夢かなうまち おびひろ

ポロシリ

帯広市長　米沢 則寿

半袖のシャツの軽やかさが、うれしい季節になりました。

澄み渡る青空、山々のかすかな残雪、木々の鮮やかな緑、生命力ほとばしる広大な大地。十勝・帯広の圧倒的な初夏の風景は、私たちに高揚感を与えてくれます。

遠くを眺めると、私たちの暮らしに豊かな恵みをもたらしてくれる日高の山並みが目に飛び込みます。雄大で凛として、優しく包み込むような安らぎを感じさせる山々の中でも、ひときわ威容を誇っているのが「ポロシリ」です。

標高１８４６メートル、アイヌ語で「大きい山」を意味するポロシリは、「アイヌの神カムイが遊んだ神秘的な山」とも伝えられ、鑑賞上価値の高いものとして国の名勝に指定されています。また、市立清川中学校の校歌にも、「ポロシリの高きを仰ぎ」と登場するなど、十勝・帯広のシンボルとして愛されてきました。

ポロシリの山裾には、キャンプ場や自然観察体験施設をはじめ、拓成湖や岩内仙峡などのレジャースポットが広がり、６月の八千代牧場まつりなど、さまざまなイベントが行われています。

７月初めには、日本屈指のアウトドア用品メーカー「スノーピーク」社の主催により、全国でも有名なキャンプイベントがポロシリ自然公園オートキャンプ場で開催されることになりました。

アウトドア愛好家が日本中から集まる国内有数のイベントがこの地で開催されることになったのは、国内外のフィールドを知り尽くすスノーピークの山井社長から、ポロシリを「ワールドクラス」と評価していただいたことが発端です。

「真の発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。新しい目で見ることなのだ」フランスの作家マルセル・プルーストの名言で私のお気に入りの一つです。

この地に暮らす私たちは、身近であるが故、この恵まれた環境に気付きにくいものです。さまざまな人に、十勝・帯広の自然を高く評価していただくことで、新たな魅力が生まれ、この地に暮らす私たちも、改めて、その価値を再認識し、その恩恵を享受できることに喜び、感謝する。そうした多くの方々の想いが幾重にも積み重ねられて、ポロシリのごとく、誇り高き十勝・帯広が形づくられていくと思います。

これからの行楽シーズン、十勝・帯広の恵まれた自然環境の魅力を再発見する絶好の機会です。

ぜひ気軽に出掛けて、豊かな自然をぜいたくに楽しみませんか。

★まちづくりにあなたの声を

市長への手紙をお寄せください

市民の皆さんの声を市の仕事に反映させ、市民協働のまちづくりを進めるために、この用紙を利用して市政へのご意見・ご提言を、お寄せください。

回答を希望される場合は、必ず住所、氏名をご記入ください。匿名の場合は回答することができません。

文書で回答したものは、原則として、個人が特定できないように編集した上で広報紙やホームページなどに掲載します。お寄せいただいた内容の公開について、承諾いただけるかどうかをこの用紙のチェック欄でお知らせください。

なお、個人情報については帯広市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問い合わせ　広報広聴課
（市庁舎３階、☎65・4110）

キリトリセン　のりしろ

市長への手紙

ご意見・ご提言をお寄せください

回答が不要の場合は□に ✓ を記入してください	ご意見と回答の要旨を、広報紙やホームページなどに掲載してよろしいですか
□ 回答はいらない	□ 掲載してよい※　□ 掲載してほしくない（□に✓を記入してください）

ご住所：〒　　－　　帯広市

お名前：　　年齢：　　歳　性別：　　電話：　　（　　）

※掲載するのは文書で回答したものに限ります。また、ご意見と回答の要旨は、個人が特定できないように編集します。

のりしろ　キリトリセン